

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年1月13日
【四半期会計期間】	第102期第1四半期（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）
【会社名】	三櫻工業株式会社
【英訳名】	Sanoh Industrial Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 竹田 陽三
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目3番6号
【電話番号】	03（5766）6641（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員財務管理部長 篠原 良幸
【最寄りの連絡場所】	茨城県古河市本町四丁目2番27号
【電話番号】	0280（33）1121（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員財務管理部長 篠原 良幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年8月7日に提出した第102期第1四半期（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

- 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表
- (2) 四半期連結損益計算書
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

- (四半期連結損益計算書関係)
- (セグメント情報)
- (1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第101期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第102期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第101期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 6月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(百万円)	22,637	14,187	76,199
経常利益(百万円)	892	23	950
四半期(当期)純利益 又は純損失(△)(百万円)	331	△97	271
純資産額(百万円)	34,514	31,719	31,133
総資産額(百万円)	70,083	60,791	59,150
1株当たり純資産額(円)	921.59	857.31	841.73
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は純損失金額(△)(円)	9.34	△2.76	7.70
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	46.6	49.5	50.0
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,784	668	3,618
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	△1,851	△593	△4,610
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	△357	△405	1,723
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	4,631	5,243	5,456
従業員数(人)	4,665	4,104	4,404

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第101期第1四半期連結累計(会計)期間及び、第101期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第102期第1四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第101期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第102期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第101期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 6月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(百万円)	22,637	14,187	76,199
経常利益(百万円)	891	22	946
四半期(当期)純利益 又は純損失(△)(百万円)	331	△98	269
純資産額(百万円)	34,264	31,466	30,881
総資産額(百万円)	70,253	60,963	59,321
1株当たり純資産額(円)	914.52	850.10	834.56
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は純損失金額(△)(円)	9.32	△2.78	7.63
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	46.2	48.9	49.5
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,784	668	3,618
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	△1,851	△593	△4,610
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	△357	△405	1,723
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	4,631	5,243	5,456
従業員数(人)	4,665	4,104	4,404

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第101期第1四半期連結累計(会計)期間及び、第101期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第102期第1四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第2【事業の状況】

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間における経済情勢は、前期から続く世界的な景気後退の影響が色濃く残り、厳しい状況で推移いたしました。日本経済をみても、雇用環境の悪化や設備投資の大幅な減少が続いており、厳しい経済環境が続いています。

自動車業界におきましては、政府による減税措置や補助金制度のスタートにより、販売台数の持ち直しの動きが見え始めましたが、前年同月比でマイナスの状況が続いております。また、生産実績につきましても、依然として前年同月比5～6割程度の水準にとどまっており、大変厳しい事業環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、生産が大幅に減少しました。

その結果、当第1四半期の売上高は、前年同期と比べて37.3%減少し141億87百万円となりました。利益面につきましては、経常利益は前年同期と比べて97.4%減少の23百万円となり、四半期純損失97百万円（前年同四半期は四半期純利益3億31百万円）を計上することとなりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

国内自動車メーカーの在庫調整は一段落したものの、生産台数は前年を下回る水準で推移いたしました結果、売上高は、前年同期と比べて35.3%減少し83億36百万円、営業利益は、前年同期と比べて48.4%減少の1億98百万円となりました。

②北米・中南米

米国自動車メーカーの経営悪化に伴う米国自動車市場の低迷により、売上高は、前年同期と比べて44.0%減少の30億21百万円、営業利益につきましては、前年同期と比べて2億72百万円減少し1億82百万円の営業損失となりました。

③その他

(欧州)

前期後半から続く取引先自動車メーカーの減産の影響により、売上高は、前年同期と比べて65.1%減少の5億1百万円、営業利益につきましては、前年同期と比べて79百万円減少し15百万円の営業損失となりました。

(中国・アジア)

中国では、自動車市場の拡大により引き続き堅調に推移いたしました。中国を除くアジア経済の減速の影響を受け、売上高は、前年同期と比べて19.9%減少の23億30百万円、営業利益は、前年同期と比べて81.3%減少の63百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により6億68百万円増加、投資活動により5億93百万円減少、財務活動により4億5百万円減少などの結果、当第1四半期連結会計期間末には52億43百万円（前連結会計年度末比2億13百万円減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において営業活動により得られたキャッシュ・フローは、主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品の生産が大幅に減少した結果、税金等調整前四半期純利益が88百万円（前第1四半期連結会計期間比7億74百万円減）となり、また、減価償却費が10億75百万円（同9百万円減）、売上債権の増加による資金減が9億58百万円（同8億94百万円減）、たな卸資産の減少による資金増が8億26百万円（同9億59百万円増）、仕入債務の減少による資金減が4億75百万円（同6億11百万円減）あったことなどにより、6億68百万円（同11億16百万円減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において投資活動に使用された資金は、自動車部品事業を中心とした有形固定資産の取得による支出が5億88百万円（同11億88百万円減）あったことなどにより、5億93百万円（同12億58百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において財務活動に使用された資金は、長期借入金の返済による支出2億80百万円（同1億23百万円増）、配当金の支払による減少1億41百万円（同1億43百万円減）などにより、4億5百万円（同47百万円減）となりました。

(訂正後)

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間における経済情勢は、前期から続く世界的な景気後退の影響が色濃く残り、厳しい状況で推移いたしました。日本経済をみても、雇用環境の悪化や設備投資の大幅な減少が続いており、厳しい経済環境が続いています。

自動車業界におきましては、政府による減税措置や補助金制度のスタートにより、販売台数の持ち直しの動きが見え始めましたが、前年同月比でマイナスの状況が続いております。また、生産実績につきましても、依然として前年同月比5～6割程度の水準にとどまっており、大変厳しい事業環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、生産が大幅に減少しました。

その結果、当第1四半期の売上高は、前年同期と比べて37.3%減少し141億87百万円となりました。利益面につきましては、経常利益は前年同期と比べて97.6%減少の22百万円となり、四半期純損失98百万円（前年同四半期は四半期純利益3億31百万円）を計上することとなりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

国内自動車メーカーの在庫調整は一段落したものの、生産台数は前年を下回る水準で推移いたしました結果、売上高は、前年同期と比べて35.3%減少し83億36百万円、営業利益は、前年同期と比べて48.6%減少の1億97百万円となりました。

②北米・中南米

米国自動車メーカーの経営悪化に伴う米国自動車市場の低迷により、売上高は、前年同期と比べて44.0%減少の30億21百万円、営業利益につきましては、前年同期と比べて2億72百万円減少し1億82百万円の営業損失となりました。

③その他

(欧州)

前期後半から続く取引先自動車メーカーの減産の影響により、売上高は、前年同期と比べて65.1%減少の5億1百万円、営業利益につきましては、前年同期と比べて79百万円減少し15百万円の営業損失となりました。

(中国・アジア)

中国では、自動車市場の拡大により引き続き堅調に推移いたしました。中国を除くアジア経済の減速の影響を受け、売上高は、前年同期と比べて19.9%減少の23億30百万円、営業利益は、前年同期と比べて81.3%減少の63百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により6億68百万円増加、投資活動により5億93百万円減少、財務活動により4億5百万円減少などの結果、当第1四半期連結会計期間末には52億43百万円（前連結会計年度末比2億13百万円減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において営業活動により得られたキャッシュ・フローは、主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品の生産が大幅に減少した結果、税金等調整前四半期純利益が86百万円（前第1四半期連結会計期間比7億74百万円減）となり、また、減価償却費が10億75百万円（同9百万円減）、売上債権の増加による資金減が9億58百万円（同8億94百万円減）、たな卸資産の減少による資金増が8億26百万円（同9億59百万円増）、仕入債務の減少による資金減が4億75百万円（同6億11百万円減）あったことなどにより、6億68百万円（同11億16百万円減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において投資活動に使用された資金は、自動車部品事業を中心とした有形固定資産の取得による支出が5億88百万円（同11億88百万円減）あったことなどにより、5億93百万円（同12億58百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において財務活動に使用された資金は、長期借入金の返済による支出2億80百万円（同1億23百万円増）、配当金の支払による減少1億41百万円（同1億43百万円減）などにより、4億5百万円（同47百万円減）となりました。

第5【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,374	5,587
受取手形及び売掛金	11,225	10,054
商品及び製品	2,226	2,322
仕掛品	1,809	1,712
原材料及び貯蔵品	3,725	4,194
繰延税金資産	488	300
その他	2,108	1,575
流動資産合計	26,956	25,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,058	12,854
機械装置及び運搬具	44,463	43,845
工具、器具及び備品	6,425	6,158
土地	3,378	3,368
リース資産	79	79
建設仮勘定	777	801
減価償却累計額	△41,734	△40,732
有形固定資産合計	26,445	26,372
無形固定資産		
のれん	179	226
その他	316	302
無形固定資産合計	495	527
投資その他の資産		
投資有価証券	4,062	3,500
繰延税金資産	2,389	2,541
その他	443	464
投資その他の資産合計	6,894	6,505
固定資産合計	33,835	33,405
繰延資産	1	1
資産合計	60,791	59,150

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,976	8,207
短期借入金	7,659	7,390
未払金	1,663	1,120
未払法人税等	469	212
賞与引当金	989	664
その他	928	936
流動負債合計	<u>19,684</u>	<u>18,529</u>
固定負債		
長期借入金	2,685	2,844
退職給付引当金	<u>6,383</u>	<u>6,283</u>
役員退職慰労引当金	202	232
その他	118	129
固定負債合計	<u>9,388</u>	<u>9,488</u>
負債合計	<u>29,072</u>	<u>28,017</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	3,031	3,031
利益剰余金	<u>25,971</u>	<u>26,209</u>
自己株式	<u>△1,302</u>	<u>△1,268</u>
株主資本合計	<u>31,182</u>	<u>31,453</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,268	936
繰延ヘッジ損益	1	△2
為替換算調整勘定	<u>△2,376</u>	<u>△2,791</u>
評価・換算差額等合計	<u>△1,106</u>	<u>△1,856</u>
少数株主持分	1,643	1,536
純資産合計	<u>31,719</u>	<u>31,133</u>
負債純資産合計	<u>60,791</u>	<u>59,150</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,374	5,587
受取手形及び売掛金	11,225	10,054
商品及び製品	2,226	2,322
仕掛品	1,809	1,712
原材料及び貯蔵品	3,725	4,194
繰延税金資産	488	300
その他	2,108	1,575
流動資産合計	26,956	25,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,058	12,854
機械装置及び運搬具	44,463	43,845
工具、器具及び備品	6,425	6,158
土地	3,378	3,368
リース資産	79	79
建設仮勘定	777	801
減価償却累計額	△41,734	△40,732
有形固定資産合計	26,445	26,372
無形固定資産		
のれん	179	226
その他	316	302
無形固定資産合計	495	527
投資その他の資産		
投資有価証券	4,062	3,500
繰延税金資産	2,561	2,712
その他	443	464
投資その他の資産合計	7,066	6,676
固定資産合計	34,006	33,576
繰延資産	1	1
資産合計	60,963	59,321

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,976	8,207
短期借入金	7,659	7,390
未払金	1,663	1,120
未払法人税等	469	212
賞与引当金	989	664
その他	928	936
流動負債合計	19,684	18,529
固定負債		
長期借入金	2,685	2,844
退職給付引当金	6,808	6,707
役員退職慰労引当金	202	232
その他	118	129
固定負債合計	9,812	9,912
負債合計	29,497	28,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	3,031	3,031
利益剰余金	25,718	25,957
自己株式	△1,302	△1,268
株主資本合計	30,929	31,201
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,268	936
繰延ヘッジ損益	1	△2
為替換算調整勘定	△2,376	△2,791
評価・換算差額等合計	△1,106	△1,856
少数株主持分	1,643	1,536
純資産合計	31,466	30,881
負債純資産合計	60,963	59,321

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	22,637	14,187
売上原価	19,821	12,527
売上総利益	2,816	1,660
販売費及び一般管理費	※1 1,942	※1 1,595
営業利益	874	65
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	33	16
為替差益	56	6
その他	45	44
営業外収益合計	143	69
営業外費用		
支払利息	110	104
その他	15	7
営業外費用合計	125	111
経常利益	892	23
特別利益		
前期損益修正益	—	52
固定資産売却益	—	12
特別利益合計	—	65
特別損失		
前期損益修正損	31	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	31	0
税金等調整前四半期純利益	861	88
法人税、住民税及び事業税	625	386
法人税等調整額	△189	△220
法人税等合計	436	166
少数株主利益	94	19
四半期純利益又は四半期純損失(△)	331	△97

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	22,637	14,187
売上原価	19,829	12,536
売上総利益	2,808	1,651
販売費及び一般管理費	※1 1,934	※1 1,588
営業利益	873	64
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	33	16
為替差益	56	6
その他	45	44
営業外収益合計	143	69
営業外費用		
支払利息	110	104
その他	15	7
営業外費用合計	125	111
経常利益	891	22
特別利益		
前期損益修正益	—	52
固定資産売却益	—	12
特別利益合計	—	65
特別損失		
前期損益修正損	31	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	31	0
税金等調整前四半期純利益	860	86
法人税、住民税及び事業税	625	386
法人税等調整額	△190	△220
法人税等合計	435	165
少数株主利益	94	19
四半期純利益又は四半期純損失(△)	331	△98

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	861	88
減価償却費	1,083	1,075
のれん償却額	46	45
受取利息及び受取配当金	△41	△19
支払利息	110	104
売上債権の増減額 (△は増加)	△64	△958
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△133	826
仕入債務の増減額 (△は減少)	137	△475
その他	619	220
小計	2,618	906
利息及び配当金の受取額	42	19
利息の支払額	△113	△111
法人税等の支払額	△762	△146
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,784	668
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,776	△588
有形固定資産の売却による収入	—	12
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△72	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,851	△593
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	27	3,682
短期借入金の返済による支出	△1,123	△3,637
長期借入れによる収入	1,184	9
長期借入金の返済による支出	△158	△280
自己株式の取得による支出	△0	△34
配当金の支払額	△284	△141
少数株主への配当金の支払額	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△357	△405
現金及び現金同等物に係る換算差額	△199	117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△623	△213
現金及び現金同等物の期首残高	5,254	5,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 4,631	※1 5,243

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	860	86
減価償却費	1,083	1,075
のれん償却額	46	45
受取利息及び受取配当金	△41	△19
支払利息	110	104
売上債権の増減額 (△は増加)	△64	△958
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△133	826
仕入債務の増減額 (△は減少)	137	△475
その他	620	221
小計	2,618	906
利息及び配当金の受取額	42	19
利息の支払額	△113	△111
法人税等の支払額	△762	△146
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,784	668
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,776	△588
有形固定資産の売却による収入	—	12
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△72	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,851	△593
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	27	3,682
短期借入金の返済による支出	△1,123	△3,637
長期借入れによる収入	1,184	9
長期借入金の返済による支出	△158	△280
自己株式の取得による支出	△0	△34
配当金の支払額	△284	△141
少数株主への配当金の支払額	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△357	△405
現金及び現金同等物に係る換算差額	△199	117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△623	△213
現金及び現金同等物の期首残高	5,254	5,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 4,631	※1 5,243

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

(訂正前)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。
運送費 405百万円	運送費 275百万円
従業員給与・賞与 658百万円	従業員給与・賞与 635百万円
技術研究費 255百万円	技術研究費 241百万円
退職給付費用 29百万円	退職給付費用 42百万円

(訂正後)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。
運送費 405百万円	運送費 275百万円
従業員給与・賞与 658百万円	従業員給与・賞与 635百万円
技術研究費 255百万円	技術研究費 241百万円
退職給付費用 21百万円	退職給付費用 35百万円

(セグメント情報)

【所在地別セグメント情報】

(訂正前)

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	北米・中南米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	12,893	5,399	4,345	22,637	—	22,637
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,294	1,329	739	9,363	△9,363	—
計	20,187	6,728	5,084	32,000	△9,363	22,637
営業利益	384	90	401	874	—	874

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	北米・中南米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,336	3,021	2,831	14,187	—	14,187
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,514	686	517	5,717	△5,717	—
計	12,850	3,707	3,348	19,905	△5,717	14,187
営業利益又は 営業損失(△)	198	△182	49	65	—	65

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米・中南米…アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル

(2) その他…アジア・ヨーロッパ地域

(訂正後)

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	北米・中南米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	12,893	5,399	4,345	22,637	—	22,637
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,294	1,329	739	9,363	△9,363	—
計	20,187	6,728	5,084	32,000	△9,363	22,637
営業利益	<u>383</u>	90	401	<u>873</u>	—	<u>873</u>

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	北米・中南米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,336	3,021	2,831	14,187	—	14,187
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,514	686	517	5,717	△5,717	—
計	12,850	3,707	3,348	19,905	△5,717	14,187
営業利益又は 営業損失（△）	<u>197</u>	△182	49	<u>64</u>	—	<u>64</u>

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米・中南米…アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル

(2) その他…アジア・ヨーロッパ地域

(1株当たり情報)

(訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 857.31円	1株当たり純資産額 841.73円

2. 1株当たり四半期純損益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 9.34円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額 △2.76円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
四半期純利益又は純損失(△)(百万円)	331	△97
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は純損失 (△)(百万円)	331	△97
期中平均株式数(千株)	35,463	35,132
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 850.10円	1株当たり純資産額 834.56円

2. 1株当たり四半期純損益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 9.32円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額 △2.78円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
四半期純利益又は純損失(△)(百万円)	331	△98
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は純損失(△)(百万円)	331	△98
期中平均株式数(千株)	35,463	35,132
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—